



CNP 認証（コンテナターミナル）認証書交付式を開催！

～全国初のレベルアップ！認証レベルを3から4へ進化～

国土交通省では、「2050年カーボンニュートラル」等の政府目標の下、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しております。

コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組の透明化を図り客観的に評価する「CNP 認証（コンテナターミナル）」^{※1}が創設（令和7年3月）され、令和7年6月30日より申請受付を開始してまいりました。

今般、令和7年9月に認証^{※2※3}を受けた「名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル」において、全国で初めてとなる認証レベルのレベルアップ（レベル3からレベル4）を達成したことを受け、4月20日に認証書の交付式を開催します。

※1：詳細は参考資料1をご参照ください。

※2：認証結果については国土交通省港湾局HPで公表されています。

（国土交通省港湾局HP（https://www.mlit.go.jp/report/press/kowan_news.html）を参照ください）

※3：認証の詳細は参考資料2をご参照ください。

1. 概要

日時：令和8年4月20日(月) 14:00～15:00

会場：名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社
鍋田ふ頭コンテナターミナル 5階 見学会室
（愛知県弥富市富浜5丁目1番地）

主催：国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

その他：交付式後、認証施設の現地視察を予定

2. 取材

- ・交付式のみ公開いたします。
- ・取材いただける報道機関の方は、別紙1「取材登録」をご参照いただき、4月16日(木)15時までに電子メールにてお申し込みください。
- ・当日は、各交付式開催15分前までに会場受付（第一会議室出入口前）にお越しください。
- ・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、愛知県政記者クラブ、
港湾新聞、海事プレス、港湾空港タイムス、日本海事新聞、
マリタイムデーリーニュース

4. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部
港湾計画課 松永（まつなが）、山下（やました）
TEL: 052-209-6323 E-mail : pa.cbr-keikaku@mlit.go.jp

メール送信先:pa.cbr-keikaku@mlit.go.jp
(国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 宛)

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします

【メール件名】

(取材登録)CNP認証(コンテナターミナル)認証書交付式

【記載事項】

1. 報道機関名

2. 取材者(複数名の場合は代表者)
 - ①ご氏名
 - ②ご役職
 - ③取材人数

3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)

4. 注意事項
 - 災害等発生時には、止むを得ず中止・延期する場合がございます。
 - 中止・延期が決定した場合、当日9:30までに連絡いたします。

(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)

申込締切:令和8年4月16日(木) 15時

- 2025年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する「CNP認証(コンテナターミナル)」の運用を開始
- ポートセールスでの活用とともに、CNP形成に向けたターミナル間での競争と、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることを期待

制度の概要

※申請は無料です

評価する取組

○対象

- ・日本国内のコンテナターミナル

○申請者

- ・港湾管理者が運営するターミナル
→ 港湾管理者
- ・民間事業者が運営するターミナル
→ 借受者又はターミナルオペレーター

○認証者

- ・国土交通省港湾局

○評価方法・基準

- ・「要求事項」の達成状況を5段階で評価
- ・「推奨事項」の達成状況を「+」の数で評価

○認証有効期間

- ・3年

貨物の取扱等に関する脱炭素化の取組



船舶や車両の脱炭素化に資する取組



CNP認証において評価する取り組み



CT管理棟、上屋への
太陽光発電設置

LNG・アンモニア等
バンカリング船

インバーター方式の
ガントリークレーンの導入

RTG・トップリフター
構内トラクター等の
脱炭素化

大型商用
EV・FCV等の導入
インセンティブ

CNP認証の評価基準

- 評価の対象は、①貨物取扱に関する取組、②船舶・車両の脱炭素化、③その他の取組
- レベル1～5の5段階で認証、各レベルで設定している「要求事項」を全てを満たすことが必要
- 「推奨事項」を満たしている場合、その項目数に応じて「+」を付加

CNP認証(コンテナターミナル)評価基準

大分類	主な取組	要求事項(レベル1～5)					推奨事項(+)
		1	2	3	4	5	
貨物取扱に関する取組	脱炭素化に向けた計画を作成	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 構内トラクター電動化など • リーファー施設、管理棟の省電力化など
	脱炭素化対応荷役機械の導入	-	10%	50%	80%	100%	
	LED照明などの導入	-	10%	50%	80%	100%	
船舶・車両の脱炭素化	環境に配慮した船舶への入港インセンティブ付与	-	-	-	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 船舶への陸上電力の供給 • 次世代船舶燃料の供給 • 大型商用EV・FCV等に対するインセンティブ
	ゲート予約システムの導入	-	-	-	○	○	
その他	上記以外の低・脱炭素化の取組	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> • 低・脱炭素化された電力・燃料の利用 • 環境配慮タグボートの導入

CNP認証(コンテナターミナル)認証済ターミナル

●北陸地方整備局管内

- ①伏木富山港新湊地区国際物流ターミナル(令和8年4月)
レベル3 ★★★☆☆

●近畿地方整備局管内

- ①大阪港南港コンテナターミナルC-1/4(令和7年9月)
レベル2+ ★★☆☆☆
- ②大阪港夢洲コンテナターミナルC10, C11, C12(令和7年11月)
レベル2++ ★★☆☆☆
- ③堺泉北港助松コンテナターミナル(令和8年3月)
レベル1+ ★☆☆☆☆

●九州地方整備局管内

- ①博多港アイランドシティコンテナターミナル(令和7年9月)
レベル5+ ★★★★★

●東北地方整備局管内

- ①八戸港多目的国際物流ターミナル
(令和7年11月)
レベル1 ★☆☆☆☆

●関東地方整備局管内

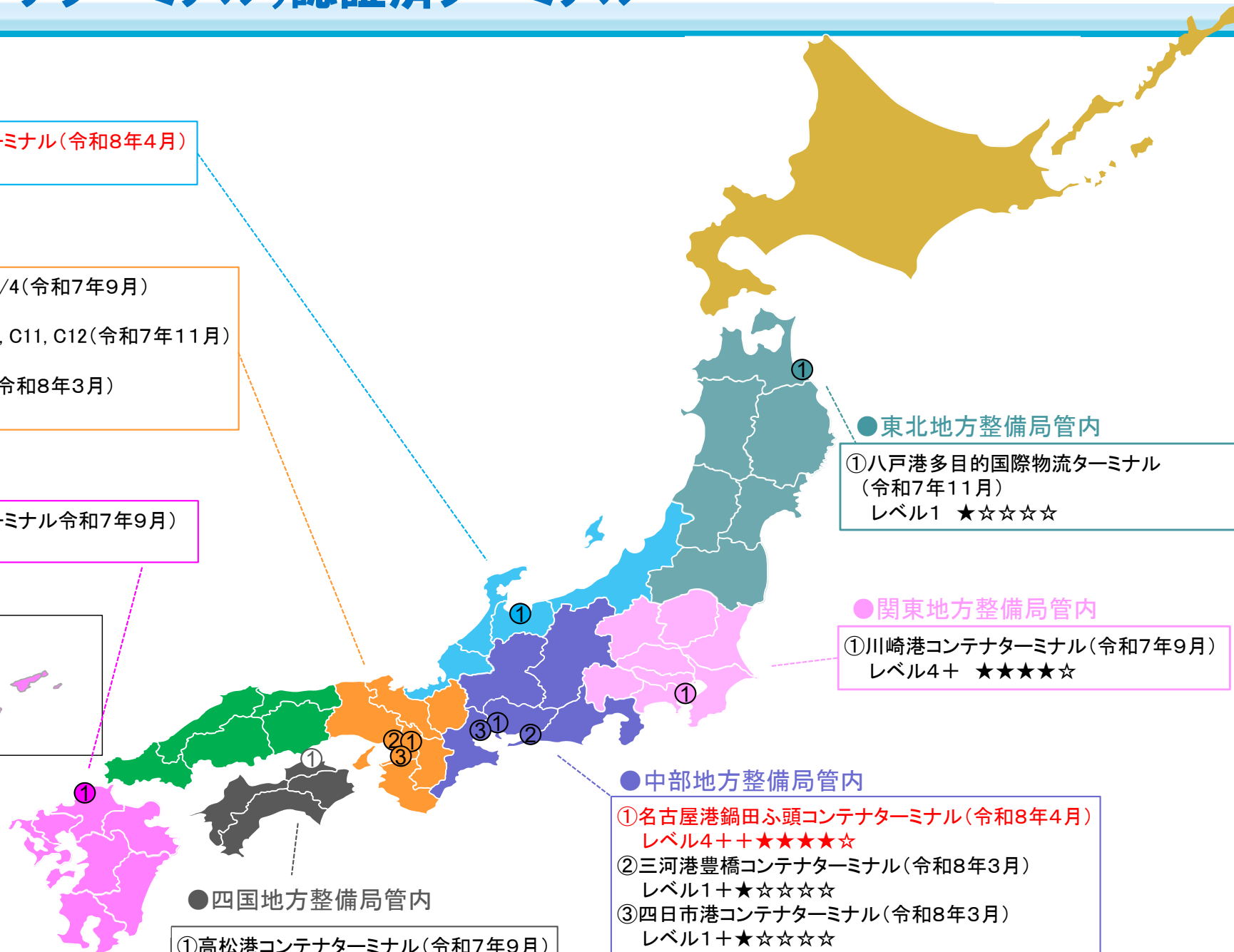
- ①川崎港コンテナターミナル(令和7年9月)
レベル4+ ★★★★★

●中部地方整備局管内

- ①名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル(令和8年4月)
レベル4++ ★★★★★☆
- ②三河港豊橋コンテナターミナル(令和8年3月)
レベル1+ ★☆☆☆☆
- ③四日市港コンテナターミナル(令和8年3月)
レベル1+ ★☆☆☆☆

●四国地方整備局管内

- ①高松港コンテナターミナル(令和7年9月)
レベル1 ★☆☆☆☆



(令和8年4月14日時点)

赤字は今回認証

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル

参考資料 2

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
名古屋ユニテッドコンテナターミナル株式会社	RTGの電動化、遠隔操作化
	ヤード照明LED化
名古屋四日市国際港湾株式会社	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
名古屋港管理組合	名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成
	環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供



CNP Certification

認証レベル
Level 4 ++

(認証日 令和 8 年 4 月 1 4 日)

CO₂排出量原単位

—

(算出に必要な一部情報が不足)

[ターミナル概要]

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルは、中部圏の国際物流を支える拠点で、船舶の大型化、貨物の増大に対応できる高規格コンテナターミナルです。3バース一体運営で広大なヤードを備え、高性能ガントリークレーンや遠隔操作・電動RTGによる効率的で環境にやさしい荷役を実現しています。令和8年2月には、3基のガントリークレーンの更新を完了し、インバーター化率100%を達成しました。また、災害対応機能や高度な情報システムを整備し、安定したオペレーションを提供しており、輸出入貨物の円滑な流通を支え、地域産業と経済の発展に貢献しています。



遠隔操作・電動RTG



インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
(供用開始した新1号機)



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会